

東松山市 日本スリーデーマチ (50Km) チャレンジ！！ウォーキングに参加して

11月19日曜日、雲1つなく風もない快晴の朝9時40分、東武東上線つきのわ駅に13人が集まりました。コロナ禍が収まり各同窓会の活動が活発になったためか、この日は行事が重なっていつもより小人数です。駅前には殺風景で飲食店は見当たらず、帰途につく前のお楽しみの会場はどこなのだろうと思いました。ほどなく幹事の大森さんの説明があり、帰りは2つ池袋寄りの高坂駅に戻って懇親会とのこと、いつものことながら案内をちゃんと読んでない自分を恥じ、そうなのかと納得しました。

まずはあまり大きな建物のない駅前から最初の目的地、丸木美術館に向かってウォーキング開始です。広い敷地の大きな屋敷があちこちに散らばる農村の、すばらしい車道脇を歩きます。相変わらず風はなく青空が拡がり空気も澄み切っています。庭先の木々、花々、畑の野菜の緑を眺めながら、平地ではありますがいつもウォーキングで感じる、両肺の掃除をしているような気分になります。そのうちに道が細くなり家も見えなくなって丸木美術館に到着しました。

丸木美術館は、原爆の図美術館です。丸木位里・丸木俊夫妻の共同制作「原爆の図」（主に水墨画）が展示されています。広島に原爆が落とされた数日後に駆けつけた、広島出身の丸木位里と妻（北海道出身）の俊が目当たりにした惨状の記憶や、多くの被爆者体験者の証言をもとに描かれたのが「原爆の図」です。丸木夫妻は30年以上の歳月をかけて全15部の「原爆の図」を完成させたそうです。美術館は1967年に会館しました。

美術館を堪能した後いよいよ再スタートですが、50Kは日帰り歩くのは少々困難なのでタクシーで移動します。2台のタクシーで順番に乗って弁天沼に再集合。北条政子の守り本尊としてまつられた千手観音が鎮座する岩殿観音を目指して、再びウォーキング。緩いですが坂道が続きます。かつては門前町だったという通りの家々の、屋号が書かれた表札代わりの大きな看板を見ながら、ここは大工だったとか菓子屋だったのかと皆で話しながら、ゆっくりと上りました。最後の急な階段を登り切ったらそこが岩殿観音でした。

お参りをすませ昼ご飯の会場、物見山へ。物見山ですから低地にはありません。道中はやはり登り道の坂です。深い木々のなか足下のあまり良くない土道を、目を落としながら一步一步進みます。時折目を上げると残念ながら紅葉はまだ浅くて、今年の秋の遅れを感じました。そしてついに物見山の頂上へ到着です。そこは広場になっていてベンチもあちこちにあります。ボーイスカウト・ガールスカウトの先客がいました。見晴らしを楽しむうちに先客も去り、いよいよお弁当タイム。お裾分けで頂いたビールの一杯が胃袋に染みしました。ご馳走様でした。

お腹を膨らませたあとのウォーキングは下り坂です。少し下った場所にある平和資料館に向かいます。ここは県立です。エレベーターで上がる展望台があります。秋晴れの日なので眺望が素晴らしかったです。ただ、やはり紅葉には少し早かったようです。平和の資料館なので、丸木美術館と同じく太平洋戦争の勉強をいっぱいして来ました。資料館からさらに

下って道路に出てバス停まで歩き、バスで高坂駅へ移動。駅前のそば処「あさひ屋」でお楽しみの懇親会です。営業時間外の貸し切りで、おかげでゆっくり出来て、店のメニューを全部頼んだかのように豪華な料理でした。懇親会で一人の方の体調に異変があり、皆で心配しましたが大事には至らず全員帰途につきました。この日は人によりますが 14,000~16,000 歩のウォーキングでした。次を楽しみにしています。

* : 体調不良時の対応として、緊急時の連絡先を幹事のみが聞き取って保管する必要があると、話がありましたが全く同感です。

藤原和広（秋高連幹事長／横手工高）記



